

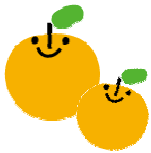
とつげき☆レポート

あんな話・こんな話・しごとの話

すこやか福祉会の総本山でもある、葛飾やすらぎの郷が今年で開設10周年を迎えました。そこで第7回目は開設当初から様々な試行錯誤を繰り返し、歴史を積み上げてきた介護課の責任者でもある、福田課長を訪ねました。

栗原 2001年の開設時に入社した福田課長ですが、すこやか福祉会に来る前のことをお聞かせ下さい。

福田 実家が千葉の梨園だったこともあり、野菜の種子を扱う会社に勤務していました。祖母の特養入所や友人が福祉関連の仕事をしていたことがきっかけで、長く続けられる仕事と思い、介護の専門学校へ通いました。卒業後、就職したのがやすらぎの郷です。



栗原 やすらぎの郷はここが自慢!!という介護における特色を教えてください。

福田 入居者さん同士の顔なじみの関係を大事にしたいので、グループ介助に取り組んでいます。介護度別ではなく、入居者さんの様子と職員の視点を加味してランダムに分けます。(入居者さんの)何気ない一言から行き先が決まり、グループでの外出もしますね。もうひとつ、開設当時から一対一の入浴介助を続けていることです。最近は(他法人でも)増えていますが、10年前は珍しいことでした。

栗原 10年過ごした中で、今でも忘れられない!!というエピソードはありますか?

福田 入職して3~4年のときですが、担当していた入居者さんが胃ろうになってしまい「もう一度お寿司が食べたい」ということで、ご家族と一緒に食べに行ったことがありましたね。。あとは、入居者さんの急変をいち早く分かって対応したのに、救急車の受入先がなかなか見つからず、長く待たされたことがありました。あのときは本当に悔しかったです。

また入居者さんがお亡くなりになった後でも、ご家族がボランティアとして来て下さったり、顔を見せに寄って下さることもあり、そのときは嬉しいですね。

栗原 今感じている課題や、今後のやすらぎの郷に必要なと感じることはありますか?

肩をたたく利用者さんの手⇒
(後ろにいらっやいます)
「いつもありがとう~」



福田 来年の法改正で、介護職の医行為が“生活の充実”という視点から

介助にどう影響してくるのか不安です。またそれに対して、ご家族と共に歩む為にはどうしたらいいのかも大切な課題ですね。

栗原 今後、特に力を入れていきたい取り組みは何ですか?

福田 最近、入居者さんの外出の機会が減っています。全体的に介護度が上がったことや、人手不足などもありますが、協力者の募集やシステムの工夫をして、なんとか増やしていきたいですね。同時にご家族とも、もっと深く関わっていけるようなアプローチをしていきたいです。毎日がお祭りではなくて、たまの楽しみに全力投球したいですね!

栗原 福田課長にとってのやすらぎタイムは?!

福田 旅行・読書・野球です。旅行は海外が多いですね。オススメはタヒチとイル・デ・パンです! 昨年は職員3人でタイへ弾丸ツアーに行ってきました! 野球は学生時代ソフトボールをやっていました。“ボールがこないと嬉しい外野”ですけど(笑)

栗原 イル・デ・パンいいですね~♡ 行ってみたい!! 最後ですが、福田課長にとってやすらぎの郷とは?

福田 ハワイですね!!
ア・ロ・ハ~ってかんじです(笑)
千住地域は本土のイメージですね。
ワシントンD.C.かな(笑)



インタビューを終えて

明るくて元気な福田課長!! 楽しい発言に何度も笑ってしまいましたが、介護の話になると熱いまなざしやすらぎの郷にかける想いや、入居者さんへの想いの深さがビシビシ伝わってきました。自分の職場が常夏の楽園と思えるなんて、すごくステキです。

インタビューア-: 栗原つむぎ



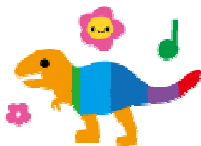
『LaQ(ブロック)を使って
ティラノサウルス・バイク・飛行機作り』

こばとの森保育園では今年4月より3才・4才・5才が同じフロアで生活し、異年齢保育を取り入れ深めています。異年齢保育の良いところは3才の子が大きいお兄ちゃん、お姉ちゃんに憧れまねっこしようしたり、逆に小さい子が困っているときにどうしたの?と声をかけてあげたり、手を貸してあげたりする姿が見られるようになってきました。

子どもたちの大好きな遊びの一つに小さなブロックのLaQがあります。はじめは繋ぎ合わせているだけだったのが、少しずつ形を意識するようになり、そのうち、作り方の本を見ながら恐竜などの大物を作り上げるようになってきました。3才の子も作りたいんだけど、思うように作れず『作って』と近くにいるお兄ちゃんに声をかけると、『いいよ〜』とサササッと作ってあげたりする場面も見られるようになりました。やさしくされたことはきっと、自分が一つ大きくなったときに自分より小さい子にやさしくできるようになるんだろうな〜って思っています。そんなこばとの森保育園の子どもたちが作ったすてきな作品です。



こばとの森保育園 石井良子



みて! じょうずでしょ★



「ふわふわ焼き」



おいしそう〜!

★材料★

- ・山芋 適量
- ・豚バラ 適量
- ・卵 一個
- ・ネギ 多め
- ・鶏がらスープの素 小さじ1くらいカサ
- ・醤油 小さじ半分くらい
- ・牛乳 大さじ1~2程度
- ・青ネギ 適量

★作り方★

- ・山芋を摩り下ろし、卵と調味料を入れる。
- ・フライパンで豚バラ両面に焼き目をつける。
- ・山芋を流し込む。
- ・小口切りにしたネギを乗せる。
- ・こんがり両面焼く。
- ・ソース、マヨ or ポン酢 or ゆず胡椒や七味で召し上げられ。青ネギ乗せても良いです。もちろんそのままでもO.K.♪

〜このメニューが生まれたきっかけ〜

広島出身の利用者さんにお好み焼きが食べたいと言われ、ある材料で作ってみたのがこの料理。今では我が家の定番メニューにもなっています。

ケアステーションみさと 町田 章

